

水道・下水道ビジョンの構成等の変更について

令和 2 年 1 月 16 日 経営総務課作成

1 変更の目的

令和 3 年度以降の水道ビジョンと下水道ビジョンは、現在までそれぞれに分けて策定を進め、素案が作成されましたが、その内容には、共通する点が多くあります。また、議会からは、上下水道に関する情報がバラバラに存在し、組織統合のメリットが活かされていないとの指摘も受けています。さらには、今後、料金改定の検討を進めるにあたっては、公共施設の老朽化に対する危機感を多くの市民と共有することが必要になります。

そこで、二つのビジョンを上下水道ビジョンとして統合するとともに、上下水道事業全般にわたる情報も加えることにより、秦野市の上下水道事業の「今まで」と「これから」を一冊にまとめることとします。またこのことにより、誰にでも見やすく、わかりやすく、多くの市民が読んでみたくなるビジョンとなることを目指すものです。

2 タイムスケジュールの変更

- (1) 2 月に予定していたパブリックコメントは見送ります。
- (2) (仮)はだの上下水道ビジョン(素案)としての取りまとめ作業は、3 月末を目標に進め、4～5 月に審議会に付し、最終の意見聴取を行った後、適切な時期に政策会議付議、議会説明、パブリックコメント手続きを行います。
- (3) 従前のとおり、料金改定は 12 月議会での上程に向けて作業を進めていきます。

3 今後の審議会における審議等について

月	会議名	審議等内容(予定)
5 月	第 1 回審議会	(仮)上下水道ビジョン素案
6 月	第 1 回水道部会、第 1 回下水道部会	事業計画・財政計画(素案)
7 月	第 2 回審議会	料金のあり方諮問
8 月	第 2 回水道部会、第 2 回下水道部会	事業計画・財政計画(素案)
10 月	第 3 回審議会	(仮)上下水道ビジョン案 料金のあり方答申
12 月	議案上程、議会審議	

4 (仮)はだの上下水道ビジョン構成案

構成案は、以下に示すとおりですが、弾力的に変更させていただきます。なお、内容は、現在までの素案の内容を十分に反映させたものとします。

(仮) はだの上下水道ビジョン	
－ 秦野の上下水道の「今まで」と「これから」－	
I	総論編
	はじめに
	第1章 上下水道ビジョンとは
	1 策定の背景
	2 役割と位置づけ
	3 SDGsの取り組み
	4 ビジョンの構成
	第2章 秦野市の歴史・地理的特性と上下水道
	1 歴史と上下水道
	2 地理的特性と上下水道
	第3章 上下水道事業の概要
	1 事業の沿革
	2 上下水道施設
	3 秦野市の上下水道事業の特徴 (1)地下水 (2)県水 (3)単独処理場
	4 公営企業会計の仕組み
	5 経営状況の推移
	第4章 基本理念
	第5章 計画の前提となる事業環境と将来予測
	第6章 基本方針
	第7章 上下水道事業の共通課題と基本施策
	1 これまでの取り組み
	2 今後の課題と取り組みの方向
II	水道事業編－基本施策と事業計画－
	(現水道ビジョン素案の6章以降)
III	公共下水道事業編－基本施策と事業計画－
	(現下水道ビジョン素案 “ ”)
IV	資料編
	利用者アンケート調査結果
	その他(統計要覧等から抜粋)

はじめに

私たちの身の回りには、たくさんの公共施設が当たり前のように存在しています。学校、図書館、公民館、これらは、いわゆるハコモノと呼ばれる公共施設です。都市基盤を作っている道路、橋、上下水道も公共施設です。他にも、ごみ焼却場や污水处理場などありますが、これらの公共施設は、日本で経済成長が続き、人口も増え続けていた 1960 年代から 80 年代にかけて、全国で集中的に整備されました。

そのころから 40～60 年が経過した今、多くの公共施設が老朽化し、更新する時期を迎えようとしています。しかし、今の日本は、当時とは大きく状況が異なり、経済成長を支えた団塊の世代は、後期高齢者になろうとしています。また、少子化の影響により人口も減り続け、特に主な納税者となる生産年齢人口の減少が顕著になっています。

このような状況の中で、多くの公共施設の老朽化に対応し、更新を行っていくことは、自治体にとっては至難のこととなり、多くの公共施設の維持・更新をあきらめざるを得なくなる時代が目の前にやってきました。このことは、「公共施設の更新問題」と呼ばれる社会問題となり、現在、あらゆる公共施設において、国を挙げての対応が始まりました。

私たちは、蛇口をひねれば、いつでも安全で、安心して、そのまま飲むことができる水が出ます。その水は排水口に流れ、処理場できれいに浄化された後、川に放流され清流を守っています。私たち秦野市上下水道局は、先人から受け継いだこの当たり前であることを守り続けるために、努力を続けてきました。そして、これからも当たり前であり続けるために、たとえどんなに厳しい時代の中でも、できる努力を惜しみません。

そのために、令和 3 年度(2021 年度)からの 10 年間における、私たちの具体的な行動を示す「はだの上下水道ビジョンー秦野の上下水道の『今まで』と『これから』ー」をここに決めました。

多くの市民の皆さまにお読みいただき、秦野市の上下水道事業に理解を深めていただければ幸いです。